

# ドラッカー研究所米国株 ファンド（資産成長型）

## 運用報告書（全体版） 第3期

（決算日 2024年6月19日）

（作成対象期間 2023年12月20日～2024年6月19日）

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2022年12月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ドラッカー研究所米国株マザーファンドの受益証券	
	ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国株式の中から、企業の無形資産価値の高さに着目してポートフォリオを構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
1 期末 (2023年 6 月19日)	円 13,318	円 0	% 33.2	% 96.1	% —	百万円 2,530
2 期末 (2023年12月19日)	14,495	0	8.8	98.6	—	11,383
3 期末 (2024年 6 月19日)	19,300	0	33.1	98.6	—	29,438

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

ドラッカー研究所は、ドラッカー研究所データおよびファンド計算のためにドラッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドラッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドラッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドラッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

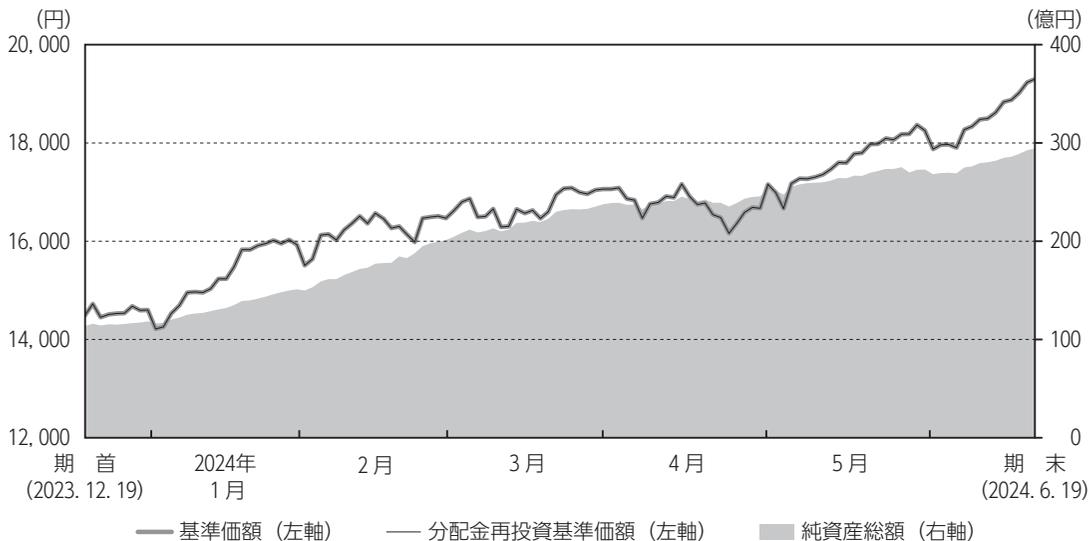
“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service.”

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：14,495円

期末：19,300円（分配金0円）

騰落率：33.1%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰 落 率 %		
(期首) 2023年12月19日	14,495	—	98.6	—
12月末	14,602	0.7	98.6	—
2024年 1 月末	15,930	9.9	97.4	—
2 月末	16,470	13.6	97.8	—
3 月末	17,061	17.7	98.1	—
4 月末	17,159	18.4	98.7	—
5 月末	17,872	23.3	98.8	—
(期末) 2024年 6 月19日	19,300	33.1	98.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 12. 20 ~ 2024. 6. 19）

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率の低下傾向が継続したことやA I（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、上昇しました。2024年4月に入ると、想定ほどインフレ率が低下せず、パウエルF R B（米国連邦準備制度理事会）議長を含む複数のF R B高官が利下げに慎重な発言をしたことなどを受けて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。しかし5月以降は、F R B議長が追加利上げの可能性は低い主旨の発言をしたことに加え、消費者物価指数などの下振れから金利が低下したことや、A I関連企業が良好な決算を発表したこともあり、株価は上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が進行しました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べ、緩和的な環境が続く見通しなどから緩やかな円安基調となりました。5月には、過度な円安米ドル高進行に対し、政府・日銀が為替介入を行ったことなどから一時的に円が強含む場面も見られましたが、引き続き日銀の相対的に緩和的な金融政策が意識されて円高米ドル安が巻き戻される展開となり、当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 12. 20 ~ 2024. 6. 19)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

### ■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、生成AI（人工知能）ブームに伴う半導体需要の増加を背景に、市場予想を上回る業績とガイダンスや増配など事前の高い期待に沿った決算発表を行った NVIDIA CORP、好調なクラウド部門が寄与し市場予想を上回る決算を発表した ALPHABET INC、急速に回復しているスマートフォン市場が追い風となった QUALCOMM INC などがプラスに寄与しました。一方で、新設したファウンドリー部門の目先の業績に対し不透明感のある INTEL CORP、2024年3-5月期決算の弱気な会社計画に失望感が広がった ADOBE INC などがマイナス要因となりました。

個別の売買では、ドラッカー研究所スコアと当社独自の財務分析に基づいた売買を行い、ANALOG DEVICES INC を売却したほか、組入比率の調整をしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年12月20日 ～2024年6月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	9,299

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 12. 20～2024. 6. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	135円	0. 811%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16, 655円です。
（投 信 会 社）	(73)	(0. 440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(60)	(0. 357)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0. 006)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	1	0. 007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0. 004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	137	0. 824	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

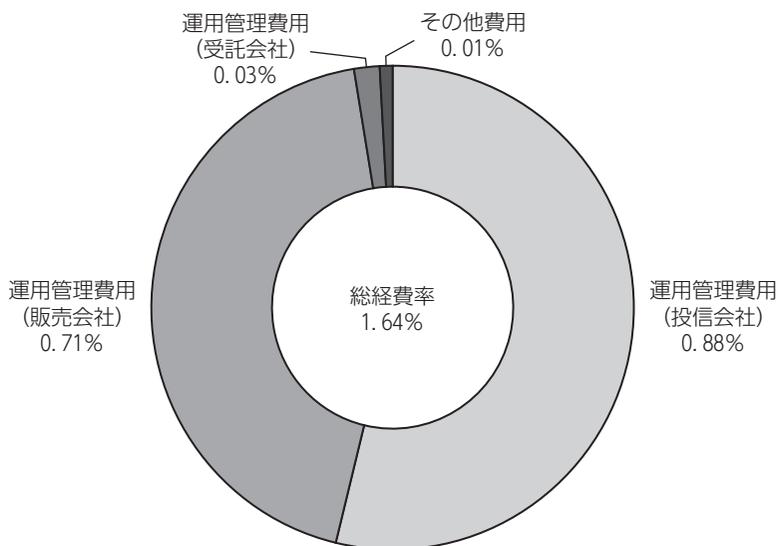
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.64%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2023年12月20日から2024年6月19日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	7,517,454	12,651,410	418,865	770,105

（注）単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年12月20日から2024年6月19日まで）

項 目	当 期	
	ドラッカー研究所米国株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	17,223,823千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	20,140,639千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.85	

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド	7,670,960	14,769,549	29,437,189

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2024年6月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド	29,437,189	99.3
コール・ローン等、その他	221,196	0.7
投資信託財産総額	29,658,385	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝157.96円です。

（注3）ドラッカー研究所米国株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（29,297,670千円）の投資信託財産総額（29,437,803千円）に対する比率は、99.5%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	29,658,385,942円
コール・ローン等	221,196,376
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド（評価額）	29,437,189,566
(B) 負債	220,267,559
未払解約金	51,736,735
未払信託報酬	167,961,559
その他未払費用	569,265
(C) 純資産総額（A－B）	29,438,118,383
元本	15,253,183,453
次期繰越損益金	14,184,934,930
(D) 受益権総口数	15,253,183,453口
1万口当り基準価額（C/D）	19,300円

\* 期首における元本額は7,853,391,896円、当作成期間中における追加設定元本額は10,303,807,768円、同解約元本額は2,904,016,211円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,300円です。

■損益の状況

当期 自 2023年12月20日 至 2024年 6月19日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>34,705円</b>
受取利息	36,471
支払利息	△ 1,766
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>5,672,181,827</b>
売買益	6,174,193,500
売買損	△ 502,011,673
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>168,530,824</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>5,503,685,708</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>795,976,240</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>7,885,272,982</b>
(配当等相当額)	( 3,654,882,907)
(売買損益相当額)	( 4,230,390,075)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>14,184,934,930</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>14,184,934,930</b>
追加信託差損益金	7,885,272,982
(配当等相当額)	( 3,654,882,907)
(売買損益相当額)	( 4,230,390,075)
分配準備積立金	6,299,661,948

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	34,705円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,503,646,016
(c) 収益調整金	7,885,272,982
(d) 分配準備積立金	795,981,227
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	14,184,934,930
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	14,184,934,930
(h) 受益権総口数	15,253,183,453口

# ドロッカー研究所米国株マザーファンド

## 運用報告書 第3期 (決算日 2024年6月19日)

(作成対象期間 2023年12月20日～2024年6月19日)

ドロッカー研究所米国株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
株式組入制限	無制限

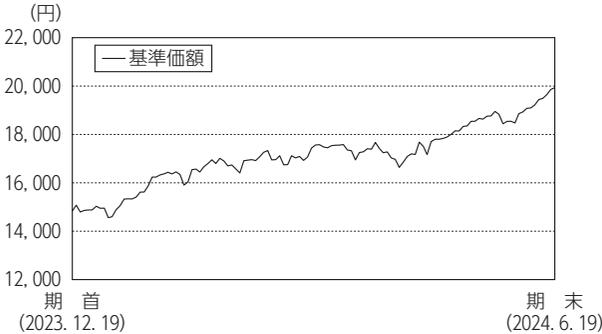
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率
	円	%		
(期首) 2023年12月19日	14,838	—	98.6	—
12月末	14,955	0.8	98.6	—
2024年1月末	16,346	10.2	97.4	—
2月末	16,918	14.0	97.8	—
3月末	17,554	18.3	98.1	—
4月末	17,680	19.2	98.8	—
5月末	18,439	24.3	98.8	—
(期末) 2024年6月19日	19,931	34.3	98.6	—

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。  
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,838円 期末：19,931円 騰落率：34.3%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ率の低下傾向が継続したことやAI（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、上昇しました。2024年4月に入ると、想定ほどインフレ率が低下せず、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長を含む複数のFRB高官が利下げに慎重な発言をしたことなどを受けて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。しかし5月以降は、FRB議長が追加利上げの可能性は低い主旨の発言をしたことに加え、消費者物価指数などの下振れから金利が低下したことや、AI関連企業が良好な決算を発表したこともあり、株価は上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が進行しました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べ、緩和的な環境が続く見通しなどから緩やかな円安基調となりました。5月には、過度な円安米ドル高進行に対し、政府・日銀が為替介入を行ったことなどから一時的に円が強含む場面も見られましたが、引き続き日銀の相対的に緩和的な金融政策が意識されて円高米ドル安が巻き戻される展開となり、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、生成AI（人工知能）ブームに伴う半導体需要の増加を背景に、市場予想を上回る業績とガイダンスや増配など事前の高い期待に沿った決算発表を行った NVIDIA CORP. 好調なクラウド部門が寄与し市場予想を上回る決算を発表した ALPHABET INC.、急速に回復しているスマートフォン市場が追い風となった QUALCOMM INC などがプラスに寄与しました。一方で、新設したファウンダリー部門の目先の業績に対し不透明感のある INTEL CORP.、2024年3－5月期決算の弱気な会社計画に失望感が広がった ADOBE INC などがマイナス要因となりました。

個別の売買では、ドロッカー研究所スコアと当社独自の財務分析に基づいた売買を行い、ANALOG DEVICES INC を売却したほか、組入比率の調整をしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

# ドロッカー研究所米国株マザーファンド

## 《今後の運用方針》

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	1円 ( 1)
有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 ( 1) ( 0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### 株 式

(2023年12月20日から2024年6月19日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	( 6,694.07 ( 1,285.83)	( 95,669 ( —)	717.11	17,270

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■ 主要な売買銘柄

### 株 式

(2023年12月20日から2024年6月19日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
銘 柄	千株	千円	円	銘 柄	千株	千円	円
APPLE INC (アメリカ)	51.389	1,409,803	27,433	NVIDIA CORP (アメリカ)	10.14	940,102	92,712
MICROSOFT CORP (アメリカ)	21.062	1,301,655	61,801	ANALOG DEVICES INC (アメリカ)	22.388	809,642	36,164
AMAZON.COM INC (アメリカ)	38.998	1,011,288	25,931	APPLE INC (アメリカ)	6.2	206,508	33,307
NVIDIA CORP (アメリカ)	8.863	980,446	110,622	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	6.081	151,056	24,840
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	42.314	959,403	22,673	QUALCOMM INC (アメリカ)	4.058	138,184	34,052
INTEL CORP (アメリカ)	145.769	844,083	5,790	EBAY INC (アメリカ)	11.583	98,271	8,484
ADOBE INC (アメリカ)	9.998	819,472	81,963	AMAZON.COM INC (アメリカ)	3.605	94,504	26,214
CISCO SYSTEMS INC (アメリカ)	92.998	688,053	7,398	ADVANCED MICRO DEVICES (アメリカ)	2.524	66,896	26,504
ADVANCED MICRO DEVICES (アメリカ)	24.709	646,437	26,162	ILLUMINA INC (アメリカ)	2.357	48,659	20,644
PEPSICO INC (アメリカ)	23.489	601,735	25,617	AUTODESK INC (アメリカ)	1.016	39,569	38,946

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
PALO ALTO NETWORKS INC	77.94	159.15	5,045	796,967	情報技術	
ADOBE INC	59.49	159.47	8,328	1,315,541	情報技術	
AUTODESK INC	99.04	225.44	5,503	869,323	情報技術	
APPLE INC	390.47	842.36	18,050	2,851,325	情報技術	
CADENCE DESIGN SYS INC	67.77	161.2	5,263	831,371	情報技術	
CISCO SYSTEMS INC	669.87	1,599.85	7,354	1,161,718	情報技術	
COSTCO WHOLESALE CORP	54.44	107.85	9,391	1,483,408	生活必需品	
AMAZON.COM INC	404.59	758.52	13,866	2,190,352	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL C	451.29	813.62	14,356	2,267,725	コミュニケーション・サービス	
NXP SEMICONDUCTORS NV	93.22	173.39	4,705	743,328	情報技術	
PEPSICO INC	187.23	422.12	7,027	1,110,056	生活必需品	
QUALCOMM INC	204.86	355.55	8,074	1,275,398	情報技術	
NVIDIA CORP	110.64	1,383.7	18,760	2,963,361	情報技術	
ANALOG DEVICES INC	109.95	—	—	—	情報技術	
ADVANCED MICRO DEVICES	226.77	448.62	6,937	1,095,770	情報技術	
INTEL CORP	702.37	2,160.06	6,616	1,045,105	情報技術	
ILLUMINA INC	156.95	397.66	4,298	679,023	ヘルスケア	
INTUITIVE SURGICAL INC	68.18	133.8	5,820	919,374	ヘルスケア	
MICROSOFT CORP	196.53	407.15	18,172	2,870,564	情報技術	
EBAY INC	512.9	907.44	4,950	781,915	一般消費財・サービス	
PAYPAL HOLDINGS INC	365.4	797.64	4,715	744,883	金融	
INTUIT INC	49.33	107.43	6,549	1,034,605	情報技術	
ファンド合計	株数、金額	5,259.23	12,522.02	183,787	29,031,122	
	銘柄数 < 比率 >	22銘柄	21銘柄		<98.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 29,031,122	% 98.6
コール・ローン等、その他	406,680	1.4
投資信託財産総額	29,437,803	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝157.96円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(29,297,670千円)の投資信託財産総額(29,437,803千円)に対する比率は、99.5%です。

# ドラッカー研究所米国株マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月19日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>29,571,903,262円</b>
コール・ローン等	340,398,209
株式（評価額）	29,031,122,714
未収入金	185,840,777
未収配当金	14,541,562
<b>(B) 負債</b>	<b>134,100,000</b>
未払金	134,100,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>29,437,803,262</b>
元本	14,769,549,730
次期繰越損益金	14,668,253,532
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>14,769,549,730口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	19,931円

\*期首における元本額は7,670,960,394円、当作成期間中における追加設定元本額は7,517,454,780円、同解約元本額は418,865,444円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型） 14,769,549,730円

\*当期末の計算口数当りの純資産額は19,931円です。

## ■損益の状況

当期 自 2023年12月20日 至 2024年6月19日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>80,672,391円</b>
受取配当金	80,661,663
受取利息	13,672
支払利息	△ 2,944
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>6,094,588,505</b>
売買益	6,793,663,988
売買損	△ 699,075,483
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 791,465</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>6,174,469,431</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>3,711,068,273</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 351,239,556</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>5,133,955,384</b>
<b>(H) 合計（D＋E＋F＋G）</b>	<b>14,668,253,532</b>
次期繰越損益金（H）	14,668,253,532

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ドラッカー研究所は、ドラッカー研究所データおよびファンド計算のためにドラッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドラッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドラッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドラッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service.”

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。